大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可
昭和九年二月二十四日　新京日日新聞　（土曜日）　第三千九百九十四號　（三）

新京日日新聞
夕刊
二月廿三日（金）

滿洲石油會社設立
定款漸く成る
きのふ認可を申請

廿日參議府會議を通過した滿洲石油會社の設立委員會は廿三日午前十時より東亞產業協會で開會、小磯參謀長、張實業部總長、吉田大將等關係者出席、參謀長、實業部總長の挨拶に續き定款の審議を行つた後、實業部に設立認可を申請、即日認可される筈である　尚定款の全文左の如くである

第一章　總則

第一條　本會社は滿洲石油株式會社と稱し大同三年敎令第七　號により設立す

第二條　本會社は左の業務を營むを以て目的とす
一　石油の採掘
二　石油の精製及賣買
三　政府の認可を受けたる前各號に附帶する事業
前項の業務の外本社は石油に關し特に政府より委託又は命令せられたる事項を行ふことを得

第三條　本會社の資本は金五百萬圓とす

第四條　本會社は本店を新京に置き、必要なる地に支店を設くるを得

第五條　本會社の存立期間は設立の日より卅年とす

第六條　本會社の公告は政府公報に掲載して之を行ふ

第二章　株式

第七條　本會社の資本は之を十萬株に分ち一株の金額を金五十圓とす
株式は總て記名式とし、株券の種類は一株券、十株券、百株券及千株券の四種とす

第八條　株式の第一回拂込額は一株に付金十二圓五十錢とし、第二回以後の拂込時期及金額は理事會の決議を以て之を定む

第九條　株金の拂込を怠りたる株主は金百圓に付日歩四錢の割合を以て遲延利息を支拂ふべし

第十條　株式の讓渡、相續若しくは遺贈に因る名義書換又は株券の損傷分割若しくは合併に因る引換については本會社所定の請求書に株券並に手數料を添へて差出すべし前項に定むる株式の名義書換手數料は一枚につき金十錢、株券引換手數料は新株券一枚に付金二十錢とす

第十一條　本會社は每年七月一日より定時株主總會終了の日迄株式の名義書換を停止す

二十二日の衆議院本會議

〔東京國通〕二十二日の衆議院本會議は午後一時二十五分開會を宣し、諸般の報告の後議事の進行に關して發言を求め政友會の砂田重政君登壇會期その半ばを過ぎたるに拘はらず、重要なる法律案の提出もなく、又首相、農相病氣の故を以て連日議場にその姿を見せざるは如何なる譯か、政府は重要案件審議の決意を缺くものと解せざるを得ない、斯くては政府は之に代るべき大臣の處置を爲すことが必要と考へる、未だ一つの農村救濟法律案の提案すらみざるは何事か、國同より不信任案の提案あるやに聞いて居るが、之がためには先づ政府にして國民の生活に則して重大案件の提案をなす意志ありや否やを明確に見究めた上は斷乎不信任案を提出するに吝かでない、本日の會議終了まで政府の責任ある人より明確な答辯を承りたい

秋田議長　砂田君の發言の趣旨は政府に通告するが、三土藏相が出席して居るから政府を代表して答辯されるかも知れぬ

と藏相の發言を求め

三土藏相　政府を代表してお答へする、先般首相から豫算總會で明言した通り農村對策の各案及び追加豫算も提出を急いだのであるが、後藤農相が病氣のため遲れて居る、而し近く決定の上上程する筈である

と答へ次いで之も議事進行に關して戸田由美君（國同）議長は何故國同提出の政府不信任案を上提審議するの必要を認めないか、又政友も民政も不信任案審議を阻止せんとする陋劣な態度に出る

と政民兩黨の矛盾を責め不信任案審議に賛成せよと悲痛な聲で絶叫する

秋田議長　國同の不信任案は日程にのせて居るがその順序が來ないのである

と逃げを打つ、國同更に議事日程變更の緊急動議を提出したが小數で否決され、政民兩黨の議員は「嗚呼手數をかける」と彈次り乍らごんごん退席、それより日程に入り、輸出貿易統制法案その他の法律案を上程」國同の鷲澤與四二君

日印會議は失敗である、ウラジオの漁區入札を拒否されたのも外相の無能と平和外交の看板が禍したのだと皮肉り、審議の後諸法律案とも委員附託となつた

滿洲國政府 映畫檢閱實施
取締法公布されん

滿洲國に於ては映畫が民衆に及ぼす影響の甚大なるに鑑みこれが取締上檢閱主義をとり公安風俗保健等一般の取締りを加ふる必要を痛感し近く取締に關する法令を公布し、國內に於て製作するものは勿論國外に輸出し又は國外より輸入するものに對しても總て檢閱を實施することとなつた、而して檢閱は之を全國的に劃一統制する必要あるため儀式運動等時事に關するものは省區官の檢閱に委ね其の他の一切は民政部に於て檢閱を行ふこととし、今回民政部內に檢閱室を設け檢閱用として最近その優秀を以て知られたるローヤル新型映寫機新田式發聲裝置附二臺、ローヤルベンー映寫機無聲用二臺、キンシ十六ミリ映寫機一臺、パテールウツクス九、五ミリ映寫機一臺の各機を裝置し既に工事を完了したるを以て近く檢閱を開始することとなつた

大掛りな 南京政府顚覆陰謀團

〔上海二十二日發國通〕[illegible]逮捕された南京政府顚覆陰謀を企てた秘密結社は六十萬弗の軍資金を以て構成され全國に六百餘の結社支社を有する大掛りなもので今回の運動の裏面に福建政府乃至共產黨の暗躍あるものと觀られてゐる

大村海軍二機 墜落發見さる
搭乘兵五名慘死す

〔平壤廿二日發國通〕大村、平壤間長距離飛行の大村海軍機中行方不明で憂慮されてゐた二機の中一機は瑞興郡（黃海道）の山腹に激突し機體は全燒、搭乘の高野中尉と伊藤航空兵曹は慘死を遂げ近藤航空兵は重傷し他の一機もその附近で墜落して居る事が發見された、同機は機體全燒、坂田航空兵、野田航空兵、川端航空兵は何れも慘死を遂げた原因については濃霧のため空中衝突をしたものかと觀られてゐる

兒玉博士 各國漫遊の途に上る

〔神戸國通〕例の勝美事件の兒玉博士は廿二日午后三時郵船「鹿兒丸」で獨、佛、伯、英米の諸國漫遊の途に上つた

生命線を行く（九十六）
國友雄吉
（荒川芳三郎畫）

女給から藝者

相談があつて、母と兄とが、自分の歸りを待つてゐたといふ――

その相談といふのは、どんなことか――？　改めてきくまでもなく芙美子には、それが、よく分つてゐた。

芙美子には、勝代といふ三つ上の姉があつた。その勝代は、東京の葭町で藝者に出て、一流の賣ッ妓で鳴らしてゐたが、二年前に病死をして、可惜女の働き盛り、美しい盛りを、花と散らしてしまつた。

その姉の殘して行つた、何百圓といふ借金が、死んだ後までまだ遺族の者に付きまとつてゐる。何とかして、その片を付けないと、保證をして呉れてゐる人に、迷惑をかけねばならないことになつてゐる。

それだから親子の者はこの苦しい重荷から脱れるため、遲かれ早かれ、何とかして物言ひをつけなければ、ならないのであつた。

その上に、兄の伊之助が、今度こそは、眞人間になり、きつと母親に樂をさせるといふ條件付で、支那人相手の小料理店を、此のチチハルで始めたいといふ。

だが、先立つものは、資本金であつた。

そこで、芙美子にも姉と同じやうに、東京へ行つて、藝者になつて呉れないか、といふ話が持ち上つて來た。

それには、葭町の、元の勝代の抱へ主も非常に乘氣になつて居るので、此際、芙美子さへ承知をすれば、勝代の殘した借金も、きれいに帳消しとなつた上、伊之助の身も、固めさせることが出來る――といふので、誰よりも伊之助が、頻りにヤキモキ言つてゐるのだつた。

無論、母親のお今にも、異存は無かつた。彼女も亦、伊之助と一しよになつて、しきりに勸むのであつた。

けれども芙美子は、行くとも行かないともまだハッキリと返辭をしないのであつた。從つて、伊之助の氣の揉め方といつたら、一ト通りでなかつた。

さういつた問題が、ちやうど煮つまつてゐる時なのである。

さて伊之助は、芙美子に、チャブ臺の前に來て坐られると、暫らくの間、モヂモヂと、やゝ言ひにくさうにして居つたが、やがて、持つてゐた杯を、一ト息にグッと乾してしまふと、それを、きつかけにして話しかけた。

「なあ、芙美子。おまへ、あの話を、一體どうしようといふんだ。考へる考へるとばかりで、いつ迄も愚圖々々して居ては、東京へ返辭の仕樣も無えし、第一、俺や、お母さんに氣を揉ませるといふものだ。白なら白、黑なら黑と、宜い加減に返辭をしてはどうだ」

そんなことを言つて、今更改めて催促されるまでも無く、無論芙美子としては、一身上に關する重大な問題なので、考へて考へ拔いてゐるのだつた。

ところで、彼女の、實際の氣持はといふと、もう十中の八九分まで、東京へ行つて、藝者になつてみようかといふ氣持にはなつてゐるのだつた。

まだ父親が生きてゐて、郷里の兵庫にゐる時分、株式市場へ誘ひ込まれて、結局、どうにもかうにもならない失敗の淵へ落ちてしまつた。その時に、姉の勝代が、その身を犧牲にして、藝者になつて辛うじて、一家の沒落を防ぎ止めたのである。

しかし、その父親も、また姉の勝代も、既に死んでしまつたけれど、結局、家運は挽回されず、殘つた親子三人が、郷里を喰ひ詰めて、チチハル三界へまで、流れ流れて來た上に、姉の殘した借金のために、苦しまねばならないといふのは、よくよく恵まれない身の上であつた。

しかしまた一面から考へてみると、自分が藝者になつて、姉の償務を果すといふことは、妹として姉の志しを繼ぐ譯柄でもあるのやうに考られる――。

芙美子は、そんな風に、考へて居るのだつた。

留換算率意見一致
滿ソ交渉近く好轉
ウラジオ漁區問題解決も近し
外相對露方針闡明

〔東京國通〕廿二日の衆議院本會議に於て廣田外相は發言を求め、衆議院本會議は暫く開催されぬと聞いたので最近の對露關係を報告したいと左の如く述べた
廿日の浦鹽に於る漁區競賣問題につき政府は種々交渉した結果、本日ソ聯大使の訪問を受け、同大使はこの度の競賣の結果は是正するさ申出て來たから、何れ解決するものさ思ふ、ついで乍ら滿ソ兩國間の北鐵讓渡交渉も留換算率の相違から停頓してゐたのであるが、最近に於て換算率問題が漸く兩者の間で意見一致するに至つたので、交渉が好轉するものと思はれる要するに私の對露方針は、出來る丈け兩國間の懸案を一つづゝ解決して行くにあり、そのためには今後も努力するものである

駐日ソ聯大使
漁區聲明訂正を表明

〔東京國通〕駐日ソ聯大使は廣田外相との會見で、曩にソ聯が日本の漁區入札を廢棄したのに對し、今回その廢棄聲明を訂正する用意あることを表明した

日本側入札の無效は是正の用意あり
駐日大使を通じ外務省に通告

〔東京國通〕駐日ソ聯大使ユレーニフ氏は二十二日廣田外相と

―會見― の際北鐵問題に言及した後、去る二十日ウラヂオに於いて執行されたソ聯側漁區入札についても我抗議に對し本國政府の訓令に基いて二十日の漁區競賣で日本側は保證金の不足により入札は全部無效となつたが、競賣に關する貴我の申出に對しては充分これを参酌の上是正の用意あり、と言明した、右是正といふ意味は二十日の入札で當然日本側に落ちるべき筈の漁區入札の無效を取消して有效にするといふであ、從つて我主張たる現行ルーブル換算率三十二錢五厘とソ聯側が不法にも固持する七十五錢案との換算問題並びに一方的繰上げの條約協定違反問題は後日に殘されるが、現實の問題たる我三十有餘の入札有效漁區は今後政府間の交渉によつて解決することゝなる模樣である、我外務省は右ソ聯邦の措置は

―當然― のことであるが、條約違反の事實については飽くまで追及する方針である

政黨否認の黑い手に
政黨警戒を始む
政民一致岡本君ら懲罰に付さん

〔東京國通〕調査委員會は前三回に亘つて開かれたが、岡本君の言は全部信ぜられぬといふのが、委員會の眞の空氣で、國同や第一控室は鳩山文相の外、山本（悌）問題、濱口問題をさらけ出して政界の腐敗を暴露し政黨攻撃に移らんとしてゐるが、この背後には政黨否認の某方面の手が動いてゐるとの疑が見られ、政民兩派は警戒を始めた即ち後二回で査問を打切り鳩山文相に發言機會を與へ無根を辯明させ、岡本氏は虚僞の陳述をなし、議員を誹謗し議會の對面を汚した言動につき懲罰されることゝならうがあるので、その成行きを重要視されてゐるが、政府としては二十五日午後の稻田博士の再診察の結果、首相の容態が思はしからずして二十六日も尙登院不能の場合は貴族院に於ける豫算審議の關係もあるので、臨時首相代理を置くここに閣議で決定を見るべく

已む無くば司法手段で
國同不信任案上程を議長に强要

「東京國通」國民同盟提出の不信任案は各派交渉會の結果本日も上程されぬ故清瀨總務は書留郵便で
不本意だが司法手段で解決せざるを得ぬに至らん、告訴、告發に及べば鬪も亦及ばずその人を葬らざるを得

多分高橋藏相が臨時首相代理として答辯の衝に當るものと觀られてゐる

齋藤首相
日曜まで絕對安靜必要

〔東京國通〕齋藤首相は二十二日午前八時十五分稻田博士の診斷の結果日曜までは絕對安靜を要することゝなつたが登院時期は日曜日に再診斷の上決定される模樣である、二十三日の皇太子御誕生の賀宴には出席を御遠慮申し上げる筈である
ず貴下の再考を煩し考慮を願ふその要求を議長宛て提出した

高橋藏相を
答辯代理の意向
貴族院の好意的申込に應じ

〔東京國通〕齋藤首相は今週中登院不可能であるが、政府では二十二日午前貴族院より非公式に總理の答辯を代行すべき閣僚を指名する様との好意的な申込みを受けたので堀切長官は齋藤首相を訪問協議の結果貴族院が受諾するならば高橋藏相を答辯の代理とし高橋藏相に事故があれば山本內相に代らせることに決定し貴族院に正式に交渉することゝなつたが右は官制によらざる便宜的總理代辯者である

ファッショ排擊
政黨擁護が目標
民政少壯代議士會けふ開く

〔東京國通〕民政黨では少壯派が中心となり二十三日午后三時から有志代議士會を開き時局を懇談するが最近黨內では岡本問題の背後にファッショ勢力が動いてゐる事實あり議會政治の危機を招來せんとする形勢あるを以て、此際超黨派的見地から政界革新議會政治の威信確立に努め併せてファッショを排擊し政黨の正しい動向を誤らせぬやうにする要ありとの意見有力なので之等につき當日は申合せを發表して善處せんとの決意を示してゐる

首相廿六日迄に登院不能の場合
藏相を臨時首相代理に

〔東京國通〕齋藤首相病氣休養に伴ふ臨時首相代理設置問題に關しては、貴衆兩院殊に貴族院方面に可成り强い要望

思はぬ飛火を憂慮
各派の攻勢にぶる
査問會結局龍頭蛇尾に終るか

〔東京國通〕査問委員會は後二回位で終結の氣配で廿八日の次回會議に江藤源九郞氏を

―喚問― することになつてゐるが鳩山文相を喚問するかどうか今回さころ不明である、當初本件の暴露されるや民政黨は政友會をとっちめる爲議會權威擁護の點をも忘れ、隨分露骨な質問を浴びせかけたが、
二十二日司法省から提出された檢事調查に故濱口雄幸氏に對する十萬圓事件の記載されて居るより例へこれを本件とは無關係の傍系事實なりとせよ俄かにその首に冷水を浴びせかけられたかの觀を抱き、その結果この問題には餘り深入りするときには飛沫が何處に來るか判らぬとの惧れあること、岡本、江藤の背後に或は一勢力があつて暴露戰術で盛に議會の威信を裏書せしめ政黨の不信を昂めんとの策あることが漸次判明し來り、この爭衝突の場合は遂に彼等の術策に陷るものである等の點が解つて來た爲、民政黨は大いに本件に關する攻擊氣勢を削ぎたる觀あり、國同と雖も故濱口氏の十萬圓事件が暴露されたると共に世上潔白眞正

法的權限を有さぬ
答辯代理人の設置は不滿
政府の態度に不滿を表す貴院

〔東京國通〕貴族院では豫算總會議事停滯に關し二十二日柳澤委員長より非公式に政府に對し速に適當な處置を講ずる樣提議したところ政府は答辯の代理を設置して首相缺席中の議事進行を圖らんとし、貴族院の諒解を求め來つたが貴族院各派においては
首相代理を置くならばともかく答辯代理の樣な姑息方法では到底滿足出來ない、政府は貴院の眞面目な質問に對し斯かる法制上の權限を有せざる辯法主義で臨むことは不眞面目だとし不滿の意を表してゐる

日本の友好態度に
米國の對日感情緩和
ニユーヨークタイムスの報導

〔ニユーヨーク廿二日發國通〕ルーズベルト大統領就任以來米國の對日態度は頗る注目されて居るが二十二日のニユーヨーク、タイムス紙ワシントン特電によれば、米國の態度はフーバー政府時代よりも緩和されたものゝ如く同紙は非公式ではあるが、信ずべき筋の意向として左の如く報導して居る
米國は今後日本との間に起ることあるべき滿洲國問題並にその他の問題について妥協的態度をとるであらう日米兩國間の所謂緊張した情勢は餘りに誇大に云ひふらされた觀があるが、日本の友好的態度は日米關係の改善に善き影響を與へ居りこの調子で行けば遠からずスチムソン、ドクトリンとして知られた滿洲國不承認も放棄されるものと思はれる、而して聯盟が日本を非難することを止めたならば、米國も勿論之に倣ふであらう

米國が
比島放棄決意
陸海軍根據地返還も承認して
比島の獨立に努力

〔ワシントン二十二日發國通〕比島獨立法は比島議會で否決された爲めその效力を失ふこととなつたが、米國政府は何比島獨立の希望を棄てず、比島側が同法を受諾する交換條件として比島にある總ての陸海軍根據地の放棄を安協案として考慮中で目下マニラ、ワシントン間で打合せ中である
現在の比島獨立法には比島の獨立は認めるが陸海軍根據地は米國のものとして保有を續けると云ふ條項があり之がため比島側では例へ比島の獨立は認められても米國の軍事統制が繼續される事となり獨立の實效を擧げ難いとして反對して居たものである、從つて右の新提案は十五年後に比島が完全に共和國となつた場合に米國が全然比島から手を引くことを意味す

菱刈司令官
鐵嶺へ

菱刈關東軍司令官は廿三日午前九時發ハトで視察のため鐵嶺に向つた

全滿を六區に分つ
指紋分類方式なる
滿洲國の指紋統制

民政部、司法部および興安總署では指紋事務の規程を作成するため予て各國規定方法を研究これが作成を急いでゐたがこの程漸く「指紋分類方式」に關する諸規程を完成したのでこの程全國各省、廳、校、院、區に對して實施の訓令を發しこの事務を管理するため全國を六區に分け各區に左の如く指紋局を設けることとなつた
第一區首都警察廳△第二區奉天省公署警察廳△第三區吉林公署總務廳△第四區哈爾濱警察廳△第五區黑龍江省公署警務廳△第六區熱河省公署警務廳

大同學院著
滿洲國各縣視察報告書

大同學院の第二期生が危險と不便をおかして全滿各地を視察した各方面の眞の實情は同

日滿親善シボレー號
いつ着くか？
今夕安東を着發

日本電報通信社主催、東京新京間二千哩走破の日滿親善シボレー號の新京到着豫想懸賞募集は本社後援發表せられてより、讀者の興味は刻々高潮し懸賞應募のハガキは編輯机上に山積し締切日の迫るにつれいよいよその數を增しつゝあるが日滿親善シボレー號もまた刻々に新京に向つて驀進しつゝある今二十三日の行程は午後三時に安東着五時出發二十六日以後の豫定を懸賞應募者の參考の爲に掲げると
廿六日前四、〇〇　蘇家屯發
九、〇〇　同着
一〇、〇〇　奉天發
後〇、〇〇　同着
五、〇〇　開原發
八、〇〇　同着（一泊）
廿七日
一〇、〇〇　同發
一、〇〇　四平街着
四、〇〇　同發
　公主嶺着（一泊）
廿八日前七、〇〇　同發
一〇、〇〇　新京着
然しこれは豫定であるから、先づ二十八日午前七時公主嶺を出發してからがどうなるか午前中に着くか午後になるか何時何分に着くかいよいよ面白くなつて來た、豫想投票は二十七日の日附印あるものは有效、尙應募中は一錢五厘のハガキを使用したもの夥しく一錢の不足料金の取立てに遭ふが、斯うしたものは遺憾ながら本社として受取ることが出來ぬから留意ありたい

一文書一

にて答辯し委員會から要求があれば上でなさんことを希望の旨で本會議で島田委員長より報告あつた場合を機に本格的の闡明をする模樣である
なりとの自信もない如く是亦險も落着するはどうかとのおぢけがないでもない樣な模樣で、遂に査問會は些か龍頭蛇尾の形に終るものとみられてゐるが、尙鳩山文相は一身上の闡明を査問會よりも本會議席

傷病兵還る

二十五日午後三時二十五分着列車で哈爾濱から傷病兵二十名來京、新京衞戍病院に一泊翌日午前十一時半發列車で新京衞戍病院入院患者廿名と共に部合四十名の傷病兵が大連へ向つて出發の筈

人事往來

▲宇佐美局長（鐵路總局）二十二日午後三時二十五分來京哈市から
▲村上理事（滿鐵）廿二日午後七時三十分來京大連から
▲山澤靜夫氏（鐵路總局火長）同上
▲矢田七太郎氏（前スイス公使）同上
▲羅振玉氏（監察院長）同上奉天から
▲山西理事（滿鐵）同上大連から
▲貴福氏（滿洲國參議）二十二日午後三時二十五分着哈市から
▲喜多大佐（關東軍司令部）二十三日午後十時發奉天へ
▲御厨外事課長（關東廳）二十三日午前七時着大連から
▲菱刈大將（關東軍司令官）二十三日午前九時發鐵嶺へ
▲田邊次長（滿鐵々道建設部）同上大連へ
▲荒木章氏（新京地方事務所長）大連に於ける滿鐵消費組合理事會に出席のため二十三日午後四時三十分發赴連、約三日間滯在のはず
▲藤田春雄氏（資源局事務官）目下沿線各地を視察中、廿六日午後七時半來京の豫定
▲林總裁（滿鐵）二十二日午後四時三十分發大連へ

海外經濟

▲八田副總裁（滿鐵）同上
▲河本理事（滿鐵）同上
▲多田少將（軍政部顧問）同上奉天へ
▲坂本中佐（〇〇隊）以下〇〇名同上公主嶺へ
▲ホツパー氏（ハーバード大學教授）二十三日午後七時三十分着吉林から
▲ポーランド公使令嬢一行三名同上

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊　先限　[illegible]
紐育銀塊　[illegible]

▲印棉
ブローチ　[illegible]
オームラ　[illegible]
ベンゴール　[illegible]

▲上海標金
昨止　[illegible]
安値　[illegible]
高値　[illegible]
本寄　[illegible]
歩値　[illegible]

▲上海日本向
第一回　[illegible]
第二回　[illegible]
第三回　[illegible]

▲上海倫敦向
賣値　[illegible]
買値　[illegible]

▲上海紐育向
賣値　[illegible]
買値　[illegible]

▲大連金鈔票
現物　[illegible]
●先限　[illegible]
寄付　[illegible]
歩値　[illegible]

各地市場

▲大連上海向
出安　引値　[illegible]
▲大連煙台向　[illegible]
▲阪神日米爲替
第一回　[illegible]

▲大阪株式
株　新　紡　新　[illegible]
▲同短期　[illegible]
▲大連株式
新　新　品限　新　鈔　[illegible]
▲大阪三品
當限　[illegible]
▲大阪棉花
當限　先限　[illegible]

▲大阪期米
當限　中限　先限　[illegible]
▲仁川期米
當限　中限　先限　[illegible]
▲橫濱生糸
現物　當限　先限　[illegible]
▲神戶豆粕
二月限　三月限　五月限　六月限　[illegible]
▲大連特產
●豆　●粕　●油　●大豆　青豆　[illegible]
カルカッタ麻袋　[illegible]

新京市況

特產　大豆　高粱　小豆　現物　[illegible]
鈔票　對金票　現大洋對金票　國幣對金票　現大洋對鈔票　[illegible]

大典當日をその儘 けふ警備豫行演習
沿道蟻のはひ出る隙もない 鹵簿の行進行列

三月一日擧行される御大典の警備は、日滿官憲協力して萬全を期し今や新京を中心とする十五里の

一地域一 は、苟も不逞の徒一人として蠢動を許さぬまでに、嚴重に警戒され準備萬般も整つていよく御大典の日を待つばかりとなつたが、首都警備本部では二十三日、午前十時から御大典當日の鹵簿通過道筋から兩側一粁に亘つて通行を禁止し、商埠地、滿洲國、朝日通り新京署、郊外滿洲國軍隊が分擔、全員八百餘名で沿道を、四百餘名の遊動警戒隊が三段構への水も洩さぬ警戒陣を張り、午前十時半興運門前から公式鹵簿と同樣に、お召自動車、警衛車九輛、オートバイ六輛編成の豫行鹵簿と、供奉の自動車は長蛇の列を作つて

一當日一 の道筋を郊祭場まで往復運行、警戒員は何れも緊張して午前十一時四十五分無事第一回演習を行つた（寫眞は宮廷府出門の鹵簿）

通行禁止時間

御大典當日の沿道その附近の通行禁止は午前五時半から施行され午前十時禁止を解除される

御大典奉祝 東京の長春會

東京に在る、嘗て新京の長春時代に居住した人々によつて組織された長春會は現在會員百數十名あり去る十三日澁谷區幡ケ谷本町三ノ五三五元長春實業補習學校長藤川印作氏方で元長春警察署長橋本清愼氏を始め十數名の幹事會を開いたが來る三月九日には滿洲國帝政實施の慶祝を兼ね春季總會を開催する旨四戸友太郎氏へ消息があつた

大典の第一夜
ヤマトホテルでダンス 專屬ダンサー來京

三月一日の御大典に日滿要人はじめ多數の外國人が宿泊する新京ヤマトホテルではこれら旅客に對してサービスの一端として御大典をかね一日の晩に限り午後七時から午前零時まで階下大ホールでディナーダンスを催し旅客の慰安をすることゝなり、この企てのため同ホテル千葉支配人はさる二十一日奉天ヤマトホテルに赴き專屬ダンサー四名の招聘を話して來たので、ダンサーは二十八日午後七時半來京の豫定である、會場には萬國旗を巡らして萬艦飾を施し會費は食事ポンチ付きで一人前四圓、服裝は男子タキシード、女子イブニングドレス

地方賜餐者に 假招待狀發せらる

御大典に賜る附屬地内だけの新京地方賜餐の假招待狀及び徽章は二十三日新京特別市公署總務廳から新京地方事務所宛屆けられた、地方事務所では直ちに調査濟みの賜餐者名簿によつて招待狀封筒に氏名記入の上徽章とゝもに交附した賜餐者名簿は假招待狀交附濟み次第各會場別に作製の上遲くとも二十七日までに地方事務所から市公署へ送るはず

なほ正式招待狀は追つて交附されるが會場、期日、人員は次の通りである

一、西廣場小學校二百名、二日
一、大陸春（滿人）二十七名 三日
一、西廣場小學校百七十七名 三日
合計四百名

なほ新京附屬地内外では官吏二千八百名、軍部五百名、一般市民七百名、合計四千名である

小松製材所燒く

二十三日午前八時四十分ごろ市内鐵道北小松製材所工場から失火し天井の一部を燒失し同九時鎭火した、損害百圓原因は工場内で焚火中天井に引火したものである

兒玉事件の 續行公判開く
次回は三月十五日

【大連國通】兒玉事件の第二回續行公判は二十二日午前九時五十五分より川畑裁判長係、高井檢察官立會の下に開廷、二辯護人の申請にかゝる衞生研究所長安東博士、佐藤三輪子、關りョ、上野園生四證人の證人調べに入る、勝美中園兩被告及び四證人出廷するや型の如く證人の身許調べの後安東博士を除く三名に退場を命じ安東博士の訊問に移り兒玉博士の性格及び交友關係、素行等を詳細に陳述し最近兒玉博士が發疹チブス、滿洲チブスの病源體發見に全力を發し家庭を顧みることの少かつたことを指摘し、次で博士が兇行に關與してゐないことを強く證言して裁判長の訊問を終り代つて大內、田村兩辯護士の質問に移り安東博士は兒玉博士が滿洲チブス病源體發見に着手した經緯を述べ

安東博士　此の病源體の發見には非常な苦心努力の伴ふものでありますが兒玉君は最近此の病源體の染色體を發見しました、この研究はアメリカでもギリシヤでも行はれ前後して發見致しました病源體發見の價値といふものは學者の一代一回なせば非常に功績あるものとされてゐます

と答へ、次いで田村辯護人は兒玉博士がかゝる研究に異常な努力と熱情を捧げた爲め家庭に於ける博士が冷かだつたと言ふことは想像されないかと質問し、代つて大內辯護人「兒玉博士が留置中留置場は靜かで研究し易いから研究の材料を留置場に入れてくれと言つて來たといふが」安東博士「そんなこともありました」と兒玉博士が研究所から家庭に歸り又宴會に行つても自己の研究について頭が一杯で他に何も考へてゐないやうであつた、と述べて兒玉博士が病源體發見に着手して以來何ものもなかつたことを證言した、辯護人の訊問を終つて川畑裁判長は再び

裁判長　滿洲チブス菌は人に飲ませたらどんなになるか

安東博士　どうにもなりません、菌は蚤の體を經て始めて毒を發起するものです

と答へて兒玉博士に家政婦を殺す意思のなかつたことを明かにしたが中園、勝美も證言を認め安東博士の訊問を終り代つて十一時十五分上野夫人の訊問に移つたが上野夫人の姿を見て勝美の顏には動搖の色が見え先づ夫人が勝美と知合になつた動機から勝美の性格について質問し、次で辯護人の質問あつて訊問を終り休憩に入つた

午後一時五分證人關りョの調べに入る、かくて中園と勝美との情痴の場所を貸した證人である」中園と勝美が夫婦を装ひ、既に姙娠中の勝美が中園の室に押かけ、情痴に狂ひ殊に勝美の姙娠を怒つて中園の亂暴な鞭の下に、終夜泣き明した勝美と中園の醜い場面は遺憾なく法廷にさらけ出される、次で一時五十五分愈よ事件の種を蒔いた佐藤三輪子の證人調べに入る

裁判長　兒玉夫婦を知つた動機は

三輪子　六年前勝美さんにピアノを教へるやうになつてからです

裁判長　勝美をどんな女と思つたか

三輪子　いゝ人だと思ひました

と事件を惹起する因となつた二人が相知るに至つた關係から勝美が家庭に於ける種々の不滿を訴へてゐた事を物語り

裁判長　勝美は多情な女だとは思はなかつたか

三輪子　左樣なことは思ひません

裁判長　中園と知合つたのは何時からか

三輪子　昭和七年一月下宿先の北野の家で知りました

裁判長　證人は中園と金の貸借關係があるか

三輪子　ありません

裁判長　夜一緒に歩いたことがあるだらう

三輪子　ありません

裁判長　中園にやつた手紙はラヴレターではなかつたか

三輪子　そうではありません

裁判長　中園と關係があるだらう

この時三輪子は答辯につまりうつむいてゐるので裁判長堅をはけまし

裁判長　眞實の事を言はねばいけない、うそを言つたら十年以下の懲役に行くぞ

と言へば

三輪子　そんな事は絶對にありません

と中園との性的關係を否定し續いて博士が内地出張中證人と勝美の仲は急速に進展し、勝美から鎌倉で處女を失つた顚末を打明けられ、殊に勝美と博士との性的生活が極めて空莫たるものであつた事を聞いたと述べ

裁判長　中園が勝美に接近したのはその頃だね

三輪子　さうです

裁判長　二人の仲に入つたのだね、證人は鎌倉のことを聞いたとき、川崎秀雄と云つたか

三輪子　只秀雄と聞きました

裁判長　中園と勝美が知合つた顚末を詳しく述べよ

三輪子　中園が勝美の鎌倉での戀愛事件を知り自から川崎秀雄になりすまして勝美に近附いたのです

と詳しく述べ、中園は勝美との錯覺に乘じて勝美に接近したものであると思ふと中園にとつて極めて不利な證言をする

三輪子　中園さんは「始め僕は養子に行つて姓が變つてゐるから」と云はれ、暗に川崎秀雄であることをほのめかしました

勝美さんは勿論私も川崎だらうと信じ切つて御座いました、中園、勝美さん、私の三人が落合つた時も中園さんは帽子を目深にかぶり、勝美さんに顏を正視されることを避けてゐる樣でしたと述べ、中園と勝美が急速に接近したのは勝美が、中園を初戀の男と誤信し、中園が勝美の錯覺に乘じて初戀の男川崎になりすまして近付いて行つた顚末に關して繰返し訊問が行はれ、三輪子は聞取り難い程の低聲で早口で陳述する

三輪子　其後勝美さんから中園さんに會せて呉れと言はれた時中園は人違ひだから自分は會はないがよいと言ひましたけれ共、勝美さんは人違ひでもよいから會せて呉れと言はれました

裁判長　其後證人は二人を密會させるために屢々勝美に電話をかけてゐる樣だね

三輪子　そんなことはありません

裁判長　青柳を知つてゐるね

三輪子　ピアノの弟子として知つて居ました

と述べ、三輪子が青柳を勝美に紹介したことから勝美と青柳の仲が急テンポに接近し、寧ろ勝美が青柳に積極的に働きかけてゐた事情を物語り、その後兒玉博士が出張中、中園が青柳と三輪子を殺害すべく決意したとき、博士邸に呼び出し電話を受けた點に訊問は及び

裁判長　呼び出し電話は勝美からかゝつて來たか

三輪子　いゝえ、青柳さんから一緒に來て呉れと言つて來たから、行かうと誘はれましたけれど、私は虫が知らせたか行く氣にはなりませんでした

と述べ、三輪子をめぐる勝美中園、青柳戀の關係につき詳細な訊問があり次で高井檢察官、田村辯護士、大內辯護士長瀬護士等の質問があつて證人調べを終り、第一回公判に於て留保となつてゐた河原田ハツ、高木トモ園部又三郎の證人申請に關し、法院は合議の結果、却下となり、前回申請の渡邊スエも取消しとなつて午後四時五十分閉廷した、次回は三月十五日檢察官の論告がある筈である

街の日記

西本願寺の 佛典研究會

祝町西本願寺では二十四日午後七時から第四回佛典研究會を開催、主題は大乘と認識、講師は光岡慈昭師

ロ

西本願寺日曜講話、二十五日午後一時半から、親心岡田布教師、御文章第五通光岡主任布教師

自動車衝突

二十三日午前零時四十分ごろ市内曙町と東一條通交叉點で朝日タクシー自動車と實業部乘車用とが衝突したが幸に死傷者はなかつた、原因は目下新京署で取調中である

不在中怪盜

二十二日午後三時三十分ごろ市内花園町一丁目五番地末永繁正氏方家人不在中怪盜が表玄關口を破壞し内部に侵入し奥六疊の間にあつた現金三十四圓、女持腕時計一個時價十四圓安全カミソリ一個を窃取されてゐるので新京署に屆出た

新京驛で落す

山口縣豐浦郡勝山村辻野雄二氏は二十二日午後九時四十分から十時までの間に新京驛三等待合室とホームの間で鼠色革製蟇口一個（在中新京奉天間三等乘車券一枚、本人印鑑一個、朝鮮銀行五圓紙幣一枚一圓紙幣一枚、十錢五錢取混ぜ一圓位）を遺失した旨二十二日午後十時半新京驛構内警察官吏派出所へ屆け出でた

拾ひもの

▲八島通滿鐵社宅一號筏沼龍氏は二十二日午前十一時ごろ西廣場で小爲替一枚額面三圓を拾つた

落しもの

▲山口縣豐浦郡勝山村十三番地辻野雄二氏は二十二日午後九時四十分ごろ新京驛構内で孤色皮製蟇口一個在中現金八圓、新京奉天間三等切符一枚を落した

▲吉野町三丁目八番地レストラン二葉内小林千代さんは黒皮製二ツ折小型財布在中現金十六圓を二十二日午後八時ごろ長春座で落した

盜難屆

▲永樂町三丁目二十三番地鍾汝慶氏は所有自轉車一台を二十二日午後一時五十分ごろ自宅前で窃取された

▲吉野町三丁目八番地丸德商店所有自轉車一台時價三十圓を二十二日午後零時三十分ごろ日本橋通七十八番地先で窃取された

爆彈三勇士の銅像
決行直前の壯烈な姿を永久に

【東京國通】上海事變廟行鎭の激戰の花と散つた江下、作江、北川の肉彈三勇士の銅像は芝青松寺境内に建立され、廿三日西郷伯以下朝野の名士多數列席の下に盛大な除幕式が擧行された、之は三勇士の偉勳を永く傳へんとする國民の熱誠な據金によるもので、銅像はまさに破壞作業を決行せんとする所をうつした壯烈悲壯な光景を目のあたりに傳へたものである

ダンサーや女給連 總出の歡迎振
あす愈よ川畑文子孃一行 華々しく新京入り

川畑文子孃一行遂に來る！廿四日午後三時廿五分新京驛着東支線列車で、哈爾賓から華々しく乘り込むこの世界的ダンサーを迎へんものと、市中ファンの熱狂振りは文字通り頂點に達してゐるが、出し物の豫定の外に目下全滿に流行しつつあるさくら音頭を番外上演すると云ふので人氣は彌が上に昂り、當日驛頭には本社員はもとより、新京蓄友倶樂部、新京音樂會員の外に在の通り、兩ダンスホールのダンサー。カフエーの女給が盛大に出迎へることとなつた

▲ダンスホールキヤピタル、千葉一子、赤川葉月、河原櫻子、川村輪子、田中すみ子、東條俊子、柳律子、川上順子、中村幸子、秋月満子、京光子、福地滿里子、賀川茂子の諸孃

▲トリオ。千代子、京子、春子、鈴子、安子、爲子、純子、水子、百合子、若子の諸孃

▲モナミ。薫、綾子、照子、高代、絲、須美枝、君子、艶子、鈴子の諸孃

▲人形座。早苗、清子、妙子、照子、悦子、玉枝、町子、惠美子、人見、ふよ子、薫、惠美子、富士子、美枝子の諸孃

△二葉。久江、桂子、文子、波津子、小夜子、洋子、信子、弘子、時子、好い、美代子の諸孃

△滿洲。幸子、勝美、壽美子、八重子、文子、蓉子の諸孃

△富士。惠美子、和子、明美、よし子、節子、鈴子、部、文子、信子、富士子、幸子、町子、滿里子、開子、照子の諸孃

△銀座。佐津喜、百合子、昭美、幸子、君子、妙子の諸孃

△マルセーユ。園子、千矢子、笑子、よし子、春美、水江、峯子、淑子、君子、惠美子の諸孃

△アリラン。秋子、薫、光子、町代の諸孃

△三笠。信子、鈴子、月江、眞弓、蘭子、政子、陽子、照美、照子、君子、田鶴子、滿里子の諸孃

△精養軒。友子、春美、芳子、初子、勝美、明美、すみ子、小夜子、幸子、雪子、常子、町子、奈々子、美鈴の諸孃

△わかもと。照子、靜子、里子、濱子、博子、菊子、豐子、幸枝、金枝、鈴子、美代子、京子、花子、春江の諸孃

△ゴンドラ。文江、利子、薫、里美、好子、信子、小夜子、蘭子の諸孃

△プランタン。蘭子、靜子、秀子、曉、照子、信子、田鶴子の諸孃

△ミス東洋。歩路、靜子、桂子、京子、洋子、里美、百合子、政子、滿子、妙子、部、一二三、玉枝、君子、薫の諸孃

川畑孃及本社へ

花輪寄贈者

▲ミス東洋、▲ゴンドラ、▲プランタン、▲わかもと、▲トリオ、▲精養軒、▲ミカサ、▲マルセーユ、▲人形座、▲銀座、▲キヤピタル、▲アリラン、▲モナミ、▲富士、▲滿洲、▲二葉、▲新京蓄友倶樂部、▲新京音樂會其他

慶安異聞 艶魔地獄 （百八十二）

（講談上演時代化）玉水三郎　（畫）長谷川小信

霞の夕なぎ（五）

船乗りとは思へぬ氣高い老人で、ズイと座敷へ入つたが、お延大藏の方は見て見ぬ振り。

「オヽ相變らず、美しいのが列んでゐるの。儂は老つても美人は可い……アッハヽヽヽ」

大藏は醉眼で見据えて。

「オヽ親爺、丁度好い處へ來て呉れた。ちよいと三千兩頼む」

親爺は大藏の隣席に座を占めながら。

「フム三千兩何うするんだ。要るなら取寄せやらうが、何にする金だ」

「ゲップ、エヽーイ。茲にゐる藝妓を根引する金だ。親爺諾ぞに言つて、すぐ取寄せて呉れ」

「オヽ可し〳〵、外の事なら此親爺は文句を言ふが、好いた女の爲めの金なら、三千が五千いつでも持つて來させやう」

「フム、早くして呉れ」

「そんなに火の附くやうに言ふな……それよりは親爺にも、一杯酒を飲ませろ。船にゐて退屈ぢやによつて、ブラリと出て來た。乃公は女は要らぬから酒だ酒だ」

女達は親爺の左右から銚子を取つて大盃に酌をした。

「アヽ醉はたぼに限る……コレ〳〵大藏が落籍するといふ藝妓は何處にゐる。顔を見せて呉れ」

やりてはお菊の手を取つて、親爺の前へ押附けた。

「此妓でございます」

羨ましがつた女達は、一つは嫉妬心で皆お菊に指ざした。

お菊は馬耳に水で、何の事やら判らなかつた。

荒右衛門親爺は、眼鏡を取出し熟々とお菊の顔を見て。

「イヤ之け美人だ。こんなのが傾國の美人といふのだ。コレ……皆の者聞いたか。傾城とは國を傾けるのだ。國を傾ける程の美貌だ」

「國を傾けるとは謀叛だ……此女は謀叛人か……アッハヽヽヽ」

意味ありげの一言に、お菊はハッと思つた。それは自分の父高坂甚内は、幕府から謀叛人とされた者。今自分は何方を向いても、知つた者のない此清水港で、しかも姉の名に變へてゐるお八重である。何として謀叛人の娘と知る者があらう。然し見るからに氣高い老人、船頭の親爺とは受取れぬ人物……若しも父を知る人か、其れとも幕府役人ではないかと、恐怖心が起つて、傍にゐるも厭はしくなつた。

「マア船へ來て酌をして呉れ。大藏の女房となれば、船中での乃公はマア舅といふ格だな。大事にして貰はうかい」

大藏は親爺の快諾に、喜々として醉は益々發して來た。

「親爺、言ふ事は判つたから、早く金を取寄せて、藝妓の醒めぬ中に引祝ひがして遊びたい」

「駄々ツ兒見たいに言はつしやるな。引祝でも出し祝ひでも、此荒右衛門が承知したからは、どんな遊びでもさつしやるが良い」

又六の喜びは、お延大藏以上であつた。直ぐ樓主富士屋久五郎にこの有様を知らせた。

「旦那、貴方の御仰るよりは、五百兩多く二千五百兩に極まりました。サア引祝ひもして、今夜の中に金の取引でございますぞ」

此時、日はとつぷり暮れて、富士屋の廊下の[illegible]に、一艘の[illegible]が來てゐた。

二月廿四日　舊正月十一日　土曜　丙寅　大安　建　胃宿

●一白の人　彼岸に泳ぎ着く間際となりて氣力衰ふ如し　丙と丁と戌が吉

●二黑の人　榮冠は將に掌中に在り一層の奮發心を起せ　申と辛と壬が吉

●三碧の人　無理を行はざれば發展の道を辿ること得　丙と丁と亥が吉

●四綠の人　寸陰を惜みて耐忍奮力すべし眼前に成功す　丙と丁と戌が吉

●五黃の人　活動して倦く所なければ有終の美を呈せん　坤と辛と壬が吉

●六白の人　人の爲め失費多かるべき日世話事は控へよ　乙と庚と癸が吉

●七赤の人　氣のみ焦りて事調はず徐々と進むが過なし　申と庚と壬が吉

●八白の人　迷ひ心を捨て緊褌一番奮起すれば勝を占む　庚と辛と壬が吉

●九紫の人　一事に專念して進み求むれば勞あり共後吉　巽と巳と丙が吉

大正十四年十二月九日第三種郵便物認可

突發的急變なくば當分政變持越しか
暗躍やゝ鎭靜、表面平靜に 底流は依然渦卷く

「東京國通」政府は既報の如く豫算成立は素より今議會切拔けを圖り鳩山文相の單獨辭職を認め政府の出所進退は議會後政界の客觀的情勢を見極めて決すべき最高方針を決定してゐるが現在の情勢より觀れば、政局轉換は突發的急變なき限り當分持越された形となつたので政變氣構への暗躍稍々鎭靜し數日來の息詰る樣な政局は表面稍々緩和されたかの如き觀を呈して來た、而して今日より始まつて數日に亘る皇太子殿下御降誕の御祝宴中は政界に渦を卷いてゐる底流は依然たるものありとするも表面は漸次平靜を保つものと見られてゐる

政友大同團結會合 當分差控へさせる

「東京國通」政友會首腦部では黨內の大同團結運動に對し深甚なる注意を拂ひつつありこれが對策を考究中であるが同派が二十七日全体會議を開くことに對しては若し右全体會議を許可することになれば大同團結運動に反對するものの會合も許さざるを得ざることとなり敢て黨內闘爭を激化することになるから此の際は寧ろ右全体會議を許さず幹部が大同團結運動に對する態度を決定善處するまで右會合を開くことは差控へられたい旨世話人に對し通告を發することとなつた

五萬圓收受問題 鳩山文相釋明せん

「東京國通」鳩山文相は岡本一巳君の暴露にかかる樺太工業の藤田專務から五萬圓收受したといふ事件並に江藤源九郎君によつて指摘された臺灣銀行の帝國人絹株券賣却問題に絡んでの疑惑は衆議院の查問委員會に於てその眞相が次第に明かにされつつあるので遠からず疑惑は一掃されるものとみてゐるが自己の所信を明かにして置く要ありとして近く何れ本會議か或は其他適當の機會に於て自己の信念を披瀝したる聲明書を發表、その進退を明かにすることとなる模樣である

農村對策追加豫算 二千萬圓程度

「東京國通」政府では農村對策追加豫算案を廿七、八の衆議院に提出する事に決定したが、右豫算閣議は三月一日午前十時から開會の筈で、追加豫算は合計二萬圓程度である

滿洲雜穀にも外國稅率適用
支那が實質的に滿洲國承認

「天津二十三日發國通」曩に廣東海關では滿洲國より輸入される雜穀に對しても課稅する旨布告する所あつたが本日天津海關に於ても同樣の布告を發する所あつた、支那側海關は元來外國よりの輸入雜穀のみに課稅し支那國土內に於ける移入雜穀には課稅せざるを原則としゐたものであるが今次の特殊事情に鑑み臨時辨法として滿洲國より特に雜穀を外國品と見做し課稅することとなつたもので國民政府が經濟上の立場からも實質的に滿洲國を承認せざるを得ざる樣に立至つてゐることが明かに看取される、尙右稅率は昨年十二月初旬公布された外國よりの輸入雜穀稅率が適用されてゐる

奥地諜報蒐集に ソ聯白系露人を使用

「奉天國通」當地着情報によればソ聯側諜報機關ゲ、ペ、ウの滿洲奥地調査については從來北滿ソ聯從業員及びソ聯經濟機關の從業員等を使用してゐたが現在之が利用困難な狀態に立至つた爲め主として局外者を利用することとなつた模樣で盛に白系露人を各地に派遣し經濟上の情報を蒐集せしめつつありと

東京、廣島から駐在員派遣

東京市役所勸業課および廣島縣商品陳列所では來る四月から新京に駐在員を派遣することに決定、右事務はいづれも新京輸入組合の事務所內に設置されることになつた

新京銀行團臨時休業

朝鮮銀行、正金銀行、滿洲銀行、正隆銀行の各新京支店、新京銀行、滿洲中央銀行商廣場支店、東拓新京支店等の組合銀行團は來る二十六日は執政萬壽、廿八日は元宵節につき臨時休業又三月一日二日は滿洲國皇帝御卽位大典に祝意を表し同じく臨時休業するから取引のある人々は留意されたいと

滿洲國辭令

張燕卿　滿洲石油株式會社設立委員長を委任す

佐藤健三　阿部重兵衛　寺田虎次郎　津下紋太郎　根橋禎二　由利元吉　滿洲石油株式會社設立委員を委囑す

源田松三　高橋康順　孫徵　婁恩之　松尾生雄　三次季計　伊藤博　同委員を委任す

任黑龍江省公署屬官（委任一等）派同公署總務廳勤務（各通）　錦永義六　島武英雄

任黑龍江省公署屬官（委任一等）派同公署民政廳勤務　森博（各通）

任黑龍江省公署屬官（委任二等）派同公署民政廳勤務　兒玉史郎

任龍江省公署屬官（委任一等）派同公署警務廳勤務　高木一也　佐野高一

任黑龍江省公署屬官（委任二等）派同公署警務廳勤務（各通）　森田清

任黑龍江省公署屬官（委任一等）派同公署實業廳勤務　高東有儀（通）

任黑龍江省公署屬官（委任三等）派同公署警務廳勤務　浦野二郎

任特殊警察隊警佐（委任一等）（各通）　東熊　東千古

任特殊警察隊巡官（委任三等）　山田吉貞　渡邊喜代治　渡邊廣

任新京特別市公署屬官（委任一等）派同公署財務處勤務　沼田市五郎（各通）

任稅務監督署屬官（委任一等）派稅務監督署勤務　長谷川信平

派瀋陽稅捐局勤務　同

轉任稅捐局屬官（委任一等）派瀋陽稅捐局屬官兼稅務監督署屬官　秋山文一

轉任稅務監督署屬官（委任一等）派奉天稅務監督署勤務（各通）　笑輪治　森藤航三

稅務監督署屬官　福島勇次郎

兼任稅捐局屬官（委任一等）派奉天稅捐局勤務　稅捐局屬官　淺井源治郎

轉奉天稅捐局勤務　稅務監督署屬官　山下三男

兼任稅捐局屬官（委任一等）派法庫稅捐局勤務　山田正泰

兼任稅捐局屬官（委任二等）派開原稅捐局勤務　稅捐局屬官　長谷川信平

兼任稅務監督署屬官（委任一等）派奉天稅務監督署勤務　稅務監督署屬官　秋山文一

兼任稅捐局屬官（委任一等）派海柳稅捐局勤務　笑輪治

兼任稅捐局屬官（委任一等）派奉天稅捐局勤務　同　森藤航三

兼任稅捐局屬官（委任一等）派海柳稅捐局勤務　同　山元隆志

兼任稅捐局屬官（委任一等）派開原稅捐局勤務　門田喜平次

米國の對滿態度 近く轉向か
愼重を持し大統領言明を避く

「ワシントン廿二日發國通」米國で政府の對滿洲國態度が「一轉向」を見せつつあるとの報道が傳へられてゐるのに對しル大統領はハル國務長官と協議の上でなければ政府の態度については何等言明することを得ないといふ態度を持してゐる、此の點より見ても大統領がこの問題を極めてデリケートな問題であると見做してゐることは事實で、これがため問題を詳細に研究した上でなければ何事も言明の限りでないといふ愼重な態度を執つてゐるものと解される、尙フランスの財團が滿洲國で盛んに活躍しつつある事實から見てフランスが早くも滿洲國に對する態度を變更するのではないかとの說が米國內で傳へられ、又これに關聯して獨逸でも東洋に市場を開拓する事は非常に希望してゐる處だから遠からず米國も同樣の「手段」に出づるのではないかとの說が擡頭して居り各方面の注意を惹いてゐる

寫眞は 御大典當日公式鹵簿お召自動車運轉の光榮に浴する王運輯手

見事な大典記念章

大典を記念するため記念章を交付されることになつたが授與される範圍は（一）大典に召された者（二）大典の事務及大典に伴ふ要務に關與したもの（三）その他國務總理において指定したる者

右記念章は銀梁地丸形、直徑三五ミリ表面輪廓內中央と最上に金色の蘭花御紋章がありその下部に帝册乎展の四字が浮きこれを鳳凰が相對して抱いてゐる圖が鑄出されてゐる、綬は紅、白、黃、黑、藍の五色の縱縞である

國柱會が飛機を派遣慶祝

「奉天國通」在東京國柱聯合會では滿洲國皇帝登極の當日空より之を慶祝すべく同國訪問飛行を計畫中の所、今回古閑邂也、佐々木寮美の兩氏を送ることに決定、二十四、五日頃東京を出發することとなつた

使用機はサルムソンA二型、二百三十馬力であると、尙兩氏は祝辭捧呈後引續き在滿將士の慰問をなす筈である

煙匪地區の掃匪を終り 吉澤部隊歸還

「ハルビン國通」烟匪地區の討匪中であつた吉澤部隊は朝鮮人避難民千二百名を連行、十八日午後十時賓西に歸還したが、主力は二十一日まで賓西にあつて縣內の警察隊、自衛團等の指導訓練を行ふと共に附近一帶にある朝鮮人救出並に宣撫工作を實施多大の効果を收めた

大典參列の爲め來京
北鐵李督辦以下

「ハルビン國通」北鐵督辦李紹庚、理事范其光、監事陳克禮氏以下北鐵要人は大典參列の爲め二十三日午後九時三十分發列車で新京に向つたがソ聯要人は二十五日ハルビン發新京に向ふ豫定

傍系會社開放で
八木主務官談

「大連國通」滿鐵では傍系會社持株開放に關する方針並に法的處理計畫を付ふ目的で總務部監査課に計畫係を新設したが本務主任者に新任された八木監査役は次の如く語つた

沿線信託會社の整理に就ては兎角問題になるが元來信託會社は取引所の附屬機關として設けられてあるのだから取引所の方針として不振なる取引所を整理するといふ時には從つて信託會社も整理されるであらうが滿鐵が主動的にこれに働きかける樣なことはない、而し傍系會社整理方針に基いて信託會社持株を手放すか否かは別個の問題である

六十有餘の傍系會社持株の開放といふことは非常に大きな問題で株を手放すとしても第一相當の買手を見付けねばならないのだから相當の時日を要する事と思ふ

その方針として營業不振の會社から開放するか、それとも外地資本の誘致の見地から現に非常の利益を擧げてゐる有望會社から開放するかは、それに對する根本調査が出來てゐないから今言明する事は出來ない

計畫係は傍系會社の整理事務を採るのは從たる仕事で主たる仕事は傍系會社の計畫を管理統制するにある

滿鐵辭令

哈市事務所庶務課檢査助手　甲備　有馬藤善

京驛檢査助手を命す

新京驛々手　甲備　杉村專一

警手を命す　同　田中繁

改札方を命す　同　小松武行

同　久道豐作

同　三輪知重

同　白水學

新京驛改札方　同　兒玉一夫

貨物方を命す（各通）

新京驛檢査助手　同　安藤稔

哈市事務所庶務課檢査助手を命す

本期經濟界の大勢と中銀業績概要（中）
中銀株主總會席上 榮總裁の演說

次に金融狀況について見るに前期末來金融緩漫のうちに七八兩月を經過し國內主要都市に於ける內外各銀行の預金の如きも日本よりの投資による資金流入と相俟ち相當膨脹し九月に入りてより漸次預金は減退の傾向を示し十一月以後特產資金の需要增加に伴ひ次第に活氣を呈し年末に於ける各銀行の貸出高は前年同期に比し增加を示して居ります、本行は本期初め即ち七月一日より金利の引下げを實行し低金利の世界的動向に順應すると共に產業の開發に資したのであります

本期中に於ける政府公債發行額は五百十餘萬圓でありまして之は舊政權時代に於ける對外債務支拂の善後措置に伴ふ交附金の一部として發行せられました積缺未發公債であります、翻つて海外の情勢を察するに諸國何れも不況を脫し得ず其の對策に苦慮しつつある狀態であります、而して一時は其の成果を待望せられたる世界經濟會議の如きも僅かに關稅及通貨問題に關する名目的協定が出來たのみで無期休會となり依然として各國共に國內事情にのみ則したる經濟對策を樹立し以て其の難局に處して居る狀態でありますが其の間結局國際協調に俟つにあらざれば眞の打開は困難なりとの觀念が擡頭しつつあるのを觀取せられるのであります、ただ友邦日本に於ては歐米諸國に先じ財界恢復の兆を呈して居りますことは日滿經濟關係上悦ぶべき現象であります

本邦通貨狀況に就て見るに本行紙幣發行高は本期の初めに於ては一億一千二百十九萬餘圓でありましたが特產資金の回收に伴ひ九月に至るまでは漸減の經路を辿りまして同月の一億三百九十四萬餘圓を最低とし爾後金融繁季に向ふと共に漸次增加しまして年末の一億二千九百二十二萬餘圓を最高とし本期中の平均發行高は一億一千八十餘萬圓でありまして之を前年同期に比べますれば最高發行高に於て二千二百萬圓、平均發行高に於て一千九百七十餘萬圓の減少を示して居ります、此の發行高の減少は陰曆歸季の關係上特產物出廻りの遲れたることと、市價の低落したることと、國內爲替及預金取引の增加したること等其の主なる原因と認められます、又發行準備は常に五割以上の正貨準備を保有し紙幣の流通は極めて圓滑でありまして貨幣價値は安定を持續して居ります

銅貨は大同二年五月先づ一角並に五分の白銅貨を、八月より一分並に五厘の青銅貨を發行し茲に貨幣法に定められたる各種貨幣全部の完成を見るに至つたのであります、本期末迄の鑄貨發行總額は二百十六萬八千餘圓でありまして各地に於て歡迎され流通致して居ります、舊紙幣の回收額は本期末累計一億五百九十萬三千餘圓でありまして開業當時の承繼額一億四千二百二十三萬四千餘圓に對し回收率七割四分五厘に相當し、法定通用期間たる本年六月末迄には豫定通り回收し得る見込みであります、本期中に於ける營業の概況を見るに預金に在りては本期末殘高七千二百萬圓でありまして之を前期末殘高に比べますれば二千九百萬圓の減少を示して居りますが、之は特殊大口預金の減少に基くものであつて一般民間預金は漸增しつつあります

更に貸出の方面に於ては、本期末殘高一億四百萬圓でありまして、之を前期末殘高に比べますと五百萬圓の減少を示して居りますが、之は特殊關係貸出の整理によるものでありまして、一般貸出は約六百萬圓の增加を示して居ります

今期貸出の主なるものは春耕貸款、各地商工復興貸款各地粮棧に對する押匯貸款等であります、國內爲替は本期中の受拂高四億三千四百五十餘萬圓、口數四十一萬六千七百余口でありまして、之を前年同期に比較しますと金額に於て卅七割餘、口數に於て七割强の激增であります

天氣

けふの天氣　西の風晴、二十三日の氣溫最高零下二度五、最低零下十五度九

輝く君民和樂の日 四日間つゞく
宮中豐明殿の饗宴

【東京國通】天地瑞祥の佳春を迎へた大内山に御光はさやけく照り映へて、馥郁として香る御苑南庭の梅には鶯の聲も一際朗らかな今二十三日、日嗣の皇子繼宮明仁親王殿下には御肥立ち彌々御麗はしく、早くも滿一ケ月を迎へさせられたので、天皇、皇后兩陛下には午後零時半より各皇族、内外の重臣を宮中豐明殿に召され君民和樂の盛大な賀宴を催されて皇太子殿下御降誕のこよなき大慶と輝やかしき御將來とを祝はせ給ひ臣僚と偕に此の歡を樂しませられた、なほ夜六時からは 天皇、皇后、皇太后三陛下お揃ひで各皇族方側近奉仕者を召されて御内祝宴を催ふされる、尚この御祝宴は二十四、二十六、二十七と今日から四日間に亘り約一萬の群臣を召される模樣である

兩陛下 御慶びを頒たせ給ふ

【東京國通】宮中御賀宴第一日の二十三日、翠濃き宮城正門は早朝より一文字に開かれて正午近くなれば 秩父宮同妃殿下を始め各皇族方此日御召しの白國大使バッソンピエール氏以下各國大公使、齋藤首相、倉富樞府議長、牧野内府、高橋藏相以下各國務大臣、若槻、鈴木各前官禮遇者並に以上夫人等禮服に威儀を正し自動車の轍も輕ろく相前後して參内する、やがて午後零時半御通常禮裝を召された天皇陛下には御洋裝御氣高き皇后陛下とお揃ひで一段と御機嫌麗はしく、湯淺宮相、林式部長官、鈴木侍從長、竹屋女官長以下供奉申上げ各皇族方扈從あらせられて諸員最敬禮中に豐明殿に出御遊ばさる、かくて玉座に著かせ給へば輝やくシャンデリヤの下盛花も芽出度く色香を競ふ中に、賀殿貴德の芽出度き古樂の雙曲等樂部員の演奏する管絃樂に一入の興を添へつつ諸員に酒饌を賜はり 兩陛下にも親しく玉盞を御手に限りなき御慶びを頒はがせられた、君民和樂のうちに 皇太子殿下御降誕奉祝の御宴はいと華やかに午後二時近く御終了、兩陛下には御機嫌殊の外御麗はしく入御諸員一同御下賜の鳥甲もめでたきボンボニー並に御紋付木杯を拜受して感激のうちに夫々退下した

御降誕賀宴 第一日

【東京國通】御降誕賀宴は二十三日から四日間行はせられるが、第一日目 兩陛下には正午豐明殿に出御あらせられ御陪食を賜ふ御召者は 秩父宮同妃兩殿下、各皇族三十餘方、ブラジル大使等大公使と同夫人二十名餘、倉富樞密院議長、國務大臣、若槻民政黨總裁以下前官禮遇臣僚百餘名で御大典後の盛典である、記念品として御紋章入りの木杯其他が御召者に下賜される筈である

聖上陛下に御生寫し
東宮殿下の御發育模樣

【東京國通】東宮殿下には昨日御体重一貫五百二十匁、御身長一尺九寸七分御降誕直後の倍近くで御顏は 聖上陛下に御生寫しであると拜聞する

郊祭式場 拜觀申込
地方事務所へ

既報、御大典の郊祭式場は式後三日まで一般の拜觀を差許されることになつたが、拜觀希望の向きは來る二十六日まで團体名、人員その他を記載のうへ團体責任者より地方事務所へ申込めば同所から滿洲國國務院に取次ぐことになつてゐる

アーチ 見事に完成
逍遙園の手で

かねて村田逍遙園主が請負つて作製を急いでゐた宮廷府興運門前の奉祝大アーチは二十二日完成同夜から電飾宮廷の夜に華麗な色彩を添えてゐる

范家屯の 大典奉祝行事

三月一日の御大典に際し范家屯附屬地居住の日滿人は國旗奉祝燈を揭げ、午前十時を期し日滿學生八百人及び居住日滿人悉くが旗行列を行ひ、其後へ榮町有志の獅子屋台鮮人の高脚踊等がつゞき市中を一週し正午に日滿合同の大祝賀宴を開くことに決定した

附屬地の公費同樣 戶數割を徵收
來る七月一日から實施する
市政公署で計畫中

新京特別市政公署では確固たる新財源を見つけこれを恒久性ある確實なものとすべく昨年來引續き財務科當局の手で課稅整理を行ふこととなり從來首都警察廳、商務會、長春縣、市政公署が各別にいろ〳〵の名目で稅金を徵收してゐたのをこれを市政公署一手に取纏めることとなり、長春縣は既に終つたが殘る首都警察廳約十五萬圓、商務會約七萬圓は來る七月一日から正式に同公署に引繼がれることとし着々準備をすゝめてゐるがこれを機會に新たに戶數割を徵收することとし目下十名の係員が手分けして特別市内の各戶について一々調査中である、右は附屬地の公費同樣のもので總戶數約二萬戶のうち年收六百圓程度以上のものに對し賦課することになるらしく市政公署ではこれで新財源二十萬圓位得る見込である

大典を奉祝して ネオンの海
白晝のやうな當日の新京

大典奉祝裝飾の夜の花、イルミネーションは滿電支店の手で着々と進められてゐるが、先づ新京驛前の奉祝塔を飾るネオン二百五十尺西公園前の塔がネオン二百尺、日本橋袂の奉祝塔ネオン二百尺、總領事館前奉祝塔ネオン二百尺を始め金泰洋行の電燈三百燈森洋行の百五十燈、サロン富士の百燈、カフエートリオの百燈、ヤマトホテルの一千燈、正金銀行、朝鮮銀行、滿洲銀行、正隆銀行の各支店及び新京銀行が百燈宛、ならびに滿電支店がお手のものでネオン五百尺と電燈一千燈を點ずるので、五彩燦然すばらしい美觀を呈するであらう、尚城内中央銀行は五千六百六十燈を點ずるなど、今のところはそれだけであるが、まだ〳〵この電飾は殖へるらしい模樣である

西廣場小學校入口および新京高女前にもそれ〴〵奉祝門が建てられることになつて居りなほ滿洲國協和會その他でも同樣の計畫があるがこれらは何れも夜間は一齊にイルミネーションが輝くことになつてゐる、なほ右の圖案を殆ど一手に引受けてゐる輸入組合商業技術部ではこのほか和登洋行■どの個人方面からも注文殺到し不眠不休の有樣である

附屬地內も 各所に奉祝門
夜間は何れも電飾

御盛典當日を飾る附屬地内の奉祝門は首都の玄關口驛前廣場を初め日本橋通百貨店前西公園正門前、總領事館前のほか新京輸入組合では同事務所前の三笠町に、また南滿ガス支店では日本橋通朝日通派出所前に、また地方賜餐會場の

基督教聯合會で 聖書と讚美歌を獻上

來る三月一日の御大典を奉祝するため、全滿キリスト教聯合會(天主教を除く)では、日滿鮮教會聯合して在滿信者の名を以つて皇帝陛下に美麗な聖書、讚美歌を各一册小聖書一册を獻上することゝなり新京基督教會が發起となつて全滿教會に對し、贊成を求めてゐたが、滿洲側の奉天の長老派本部、日本側日本基督教會滿洲大會、日本メソヂスト教會各地教會、組合教會、各地教會ホーリネス教會、在滿全教會の贊成を得既に獻上品は上海から發送され二十五六日頃までに到着する予定である、尚同會では當日皇帝と、帝國のため祈禱會も開き、新帝に神の御加護のあらんことを祈る筈である

大典當日の 警戒

御大典當日の警備は午前五時から開始されて同六時半から一般の交通を遮斷し拜觀は所定の位置日本人の一般者および小學生並に滿洲國官吏招待者は建築中の關東軍司令部東部つゞいて大同街に面し滿洲國軍と軍樂隊大同廣場東側に滿洲國の一般人西北側に滿洲國學生生徒以外は絕對に許されぬことゝなつてゐる

日本人の監督を附け 馬車人力の暴利取締
新京驛と組合で協議の結果

國都新京の玄關口新京驛ではこれから視察團や旅行者が殖へる季節に入るのと殊に來る三月一日の滿洲國の大典で新京目指して集まる人々に

『對し』あらゆる點で不滿の無いやうにと努めつゝあるが第一に馬車人力車の如き乘り物で現在新京に住んでゐるものが惱まされてゐる點に鑑み二十二日附屬地馬車人力車組合の幹部と懇談し、日本人監督を驛に出張せしめ、乘車賃をボラぬやう取締るやうに手筈を定めたが、これによつて驛構内出入の組合に加盟してる馬車人力車は統制が出來るけれど、附屬地外から入りこんで來る車馬は統制困難であるから不法な賃錢を要求されたやうな場合はそのまゝ默つて最寄りの派出所まで連行して裁いて貰ふのが一番であらう近來新京の車馬、殊に馬車夫の橫着さは驛あたりで乘らうとしても土着の者からは法外な賃錢を食れぬのでなるべく乘せないやうにするので、擯に觸はるとは一般市民の聲である、故なく

『乘車』を拒んだ奴なども派出所へ連行懲しめのため鑑札を取上げるやうな處置を執つて貰つたらこの惡弊が匡正されて行くであらう

內鮮滿兒童が 聯合の學藝會
けふ室町校で開く

室町、西廣場兩小學校、公學校および普通學校の四校聯合で兒童の語學練習會がけふ二十四日午後一時から室町校講堂で開かれるはず、定刻まづ一同國歌君ケ代および滿洲國歌を合唱し滿語通譯付で開會の辭があり練習會に入るが日本人兒童は支那語、朝鮮兒童は日本語を以て會話や唱歌或は兒童劇なども行はれいはゞ日滿鮮聯合の學藝會といつたもので最近特に滿人方面の日本語熱高潮の折柄極めて有意義なものとされてゐる、かくて上原校長の日語通譯付で閉會の辭があり午後四時終了の豫定である

待望の川畑文子孃 愈よ今夜長春座へ
新京ファン早くも醉ひ心地

好評と軍隊慰問のため、止むなく一日延期したため新京乘り込みが一日遲れた川畑文子孃一行も愈よ、今廿四日午後六時から長春座で開演、その好技を公開する事となつたが目下流行の藤間勘屋壽さんのさくら音頭踊を番外として加へ、四分に別れて一行獨意の出し物を公演するが、中にも白幡石藏氏のパリジャンタンゴ川畑文子孃のハイキック、南京豆賣りタンバリンダンス堀內幸子孃のオリエンタルダンスは得意中の得意な出し物として盛況を豫想されてゐる、尚當夜のプログラム左の如し

一、ピヤノソロ 小泉信一
二、スローバック 白幡石藏
三、パレーダンス 堀內幸子
四、日本舞踊 羽根の禿 藤間勘屋壽
五、セニョリタ 川畑文子
小憩
六、ピヤノソロ 小泉信一
七、ユクレレベビー 川畑文子
八、新舞踊 青空 ファンダンス 八重一重 風のたより 藤間勘屋壽
九、ウオルツクログ 白幡石藏
一〇、タンバリンダンス 川畑文子
一一、オリエンタルダンス 堀內幸子
一二、ジヨニー 淋しき路 川畑文子
小憩
一三、日本舞踊 丘の夕陽 お夏 藤間勘屋壽
一四、五ケ國のホールルームダンス ウオルツ イングランド パリジヤンタンゴ キユーバのルムバ アメリカ 川畑文子 白幡石藏
小憩
一五、日本舞踊 踊り踊らば 藤間勘屋壽
一六、エクセントリックダンス 白幡石藏
一七、南京豆賣り タップダンス ハイキック体育舞踊 川畑文子

尚川畑文子孃のプロマイドのサインの取次もするので、當日は希望者はその旨申出でられたい

佐々木聚古堂 書畫卽賣展

東二條通青井表具店の後援にて一昨年新京に於て第一回書畫展觀卽賣會を催した京城南山町三丁目佐々木聚古堂は今年も本二十四日より三日間印象作(着色秋景尺八)竹邪作(着色天保九如尺三)等十種を持參し永樂町扇芳グリル階上にて第二回展觀卽賣會を催すこととなつた、一昨年の催しの際好成績を擧げ得たと同樣今年の第二回展も同樣好成績を擧げ得る事だらう

新京商業學校
けふ第十回卒業式
卒業生六十一、授賞者十七名

既報、新京商業學校第十回卒業證書授與式はいよ〳〵二十四日午前十時から講堂で開催、感激裡に擧式されるが今回の授賞者は左の十七名卒業者は六十一名である

▲授賞者

一、滿鐵總裁賞 加治木俊道君

一、優等賞 加治木俊道君 山口佐熊君 二口正道君 小林寬一君 岡本博巳君 和田三郎君 前田初次君 野呂清藏君 冲津誠一郎君

一、在學中皆勤賞 森下萬年君 張鴻志君 淺井正久君 岩間松雄君 野呂清藏君

一、同精勤賞 小林寬一君 山元茂君

優等賞の 加治木俊道君

名譽ある滿鐵總裁賞を授與された加治木俊道君は今年十九歲、鹿兒島縣人で父は滿鐵社員、大石橋に勤務、君は大石橋小學校の出身で商業■校入學以來常に成績優秀で首席にあり二年のとき病氣のため一年休學した、特技趣味として滿洲語一等資格をこの秋にとり、卓球、珠算に秀で劍道初段、射擊、書道などに天才的な青年である

就職は財務部に一番に決定した

▲卒業者氏名(アイウ順〇印は上級學校志望)

青木茂、池崎勇司、飯田修一、今西紀 〇冲津誠一郎、小野里始、加治木俊道、加納忠男、關谷寬、外岡柳一、寺內保雄、東山昇 〇野呂清藏、橋木守 〇細川長弘、前田初次 〇峰島貞數、大和節夫、山根一男、吉松常滿、渡邊二郎 〇和田三郎、山崎達夫、伊藤行也 〇大隈友秋 〇佐藤武雄 〇菱屋正春、平原弘 〇森下萬年、吉田氏、金子貞十、熊谷猛、羽根守雄 〇會田幸男 〇淺井正久、市川武、今永昭 岩間松雄、鶴田德雄、大石國雄 〇岡本博巳、岡山公男、北川恰 〇小林寬一、佐藤仁義、白石彰、立林登近、澤田國雄、內藤功 〇中村勇、原司 〇樋口壽 〇二口正道、松澤善一 〇光永英雄 〇山口佐熊 〇山川刀司、山元茂、安彥明典、瀧川大、張鴻志

高女の卒業式
三月十五日に擧行

二十八日までに學期考查を終へる新京高等女學校では一日の旗行列に御大典に參加、四日、五日ところに卒業生授賞者決定の職員會議を開き七日、八日に新入學志願者の入學考查、十五日午前十時から第七回卒業證書授與式を擧行するが今年度の卒業生は五十四名の豫定

高女本年度 最後の考查

新京高等女學校ではいよ〳〵二十四日から二十八日まで四日間本年度における最後の第三學期考查が施行される

青訓近く座談會

新京青年訓練所では大典終了後直ちに新學期青訓入所會議をかね在鄉軍人分會、教育會、體、市內有志、在京新聞等の有力者を招いて座談會を開くと

青訓で 自治會設置

開設以來克々と發展を告げつゝある新京青年訓練所では職員・所生一体となつてます〳〵その伸展をはかつてゐるが先月ころから所生間に寄りく自治會設置の話しが持ちあがつてゐたがいよ〳〵その實現を見るに至り、二十四日午前六時から商業學校理科室で數人の發起人の手で自治會を開催すると、かくて發會後は自治會によつて所內の統制を圖らうと意氣込んでゐる

大赦を機に

新京へも免囚保護機關を設置せよ（七）

新京總領事館囑託教誨師　光岡慈昭師談

出獄者をそのまゝ刑務所の門前で放すことは頗る危險なことでそれは入獄するごとに犯罪方法の研究を積んでゐるからである、犯罪を製造するところは監獄であるとは獨逸の犯罪學者ロンブツウの言であるが犯罪を除去し隔離するための監獄が却つて幾多の犯罪を構成させる空氣にあるとはあまりに皮肉である

口

おなじ意味において釋放事業も形の上において又經濟の點においてこれを完備するにはよほど指導精神を深く洞察しなければならないと思ふ、この指導精神について前からのべた如くさしあたり日本內地におけるこの種の釋放事業の實際をよく視察し研究する必要があるが新京において今回の大赦令を機に免囚保護事業をおこさんとするならばさりあへず恩赦に浴して既に新京總領事館の監獄を釋放された三人の身のふりかたである、今後次々に出獄するものゝ前途である

これをこのまゝに放任し、今後の出獄者を獄舍の門前から心のむくまゝ足のむくまゝに放つたならば殊にこの寒空あたかも野に虎を放つも同然であらう、かく實際問題や結果論から考へると保護事業は犯罪者の保護事業であると同時に良民保護の事業ともなるわけである目下新京領事館に收容されてゐる囚人は新京附近のもので新京やその附近の地理にはあかるい者であるが、これらのものが得たまゝもらす言葉は……どうせ一度着た赤い着物だ……といふ自暴自棄の言葉である。こうした言をきくとき保護思想は單なる特殊な人だけでなく一般の人々にもよく知らしめて出獄者に對する認識を與へてをく必要があると思ふ

口

要するに保護事業は隣保事業としても又社會通念の連帶責任から考へても何人かの手により何等かの形において新京にもこの事業の具体化されることを希望するものである

中國覺醒の啓示（二）

王道帝國の御盛儀

中國を知り中國を活かすもの、偉い傳統と力强い經濟的蓄力を藏せる「支那」を立たしめるものは何か、西洋帝國主義の金力か、ソ聯政治の形式か、否々、金や形式、この二つのものにかけては、支那は誰からも學ぶべき何ものをも有つてはゐない、支那の最も必要とするものは、宣傳とうぬぼれではなくて、冷酷な現實認識であり、個人的才智はなくて團体的精神である

有名なアメリカの支那通はこれを「武士道の注射」といつてゐる

東北邊境にあつて中國禍亂の姿を冷靜に洞察し、動亂支那の禍根に深い憂慮を懷いてゐた滿洲の自覺分子が、順天安民の理想實現を九、一八關東軍の義擧に結び付け騰然起つて滿洲國の獨立に邁進したのは眞に當然の行動であつたのである、友邦日本の援助を得日本經濟界の物質的な援助、玆に始めて支那民族多年の憧憬王道政治は實現への契機を把握し得ることを洞見しからである

顧みれば民國二十年の三月一日、毅然立つた彼等の意圖が築國、燦々しい產聲となつて現れ、[illegible]

國の宣言に謳つてより正に二ケ年、ひたむきに安民樂業の大理想に邁進する滿洲國の歩みは國民擧げて血と涙の難道ではあつたが友邦日本の萬難を排しての義助と上執政始め滿洲國官民の撓まざる努力とに今や國內の治安は驚異的に肅清の實を擧げ、財政の鞏固化はリツトン報告をして其の權威を失墜せしめ、滿洲國經濟の發展は自ら求めずして諸外國の事實上の承認を獲得せしめるに至り國際間に確固たる地位を占めんとするに至つたのである、眞に帝國の實施は滿洲國の經濟的發展に起因するものにして（デーリー、テレグラフ）王道現實化の生きた證據であり、支那文明再生の天の啓示である

支那は更生の道を滿洲國に示されてゐる、かく言へば西洋帝國主義と其買辦者流の眼にはたわ言としか映じないであらう

然しながら滿洲の國際的バルカンたるを知り日本の非常時時局の意義に深い歷史的洞察を怠らず且つ日支兩立の不可避性を自覺する者にとつては雨ふつて地固る、滿洲の支那脫離とその獨立國としての輝かしい發展は、民族の生活害を腹を割つて語ら合ふ赤裸々な東亞諸民族團結の天壁たることを知るべき筈である、支那はこの嚴然たる天のしるしに慄然として自己の眞に行く可き道を悟らねばならぬ筈である然り徹底抗日より、一面抵抗一面交渉へ、そして一九三五六年のキヤタストロフイを豫いて民族興亡の慄然たるターニングポイントを豫想するに至つた中國政治家の中に責任ある決意が日支の提携へとかすかながら動きつゝあるのが看取されるのである又全支第一を以て任ずる天津の大公報は滿洲國帝政宣言の機を把えて「新名詞、舊事情」と題する社說を掲げ、堂々左の如き鋒鏑を眠れる支那官民に亂打してゐるのである

「戊辰以來四十年、我等の維新事業は一言にして謂へば新名詞を以て舊事情を粉飾して來たまでのことで民權を標榜した結果は却つて軍閥の橫行を誘らしたに過ぎない、九、一八事變以後も日滿兩國は二千年前の舊名詞王道を掲げてゐる、全滿大衆の理想は安居樂業、租稅輕減、政府は父母の如く、民は赤子の如き環境を招來するにある、今我士大夫階級を見るに彼等は徒らに新名詞を振り廻して舊式官位を得るに汲々としてゐる、我等は滿洲帝政の日に當り我官民が新名詞を以て舊事情を抹殺し全國統一その他重大問題の解決を困難ならしめてゐる如き態度を放棄せんことを望む」と、更に鄭總理は中國混亂の姿と對比して帝政國体確立の政治的意義を左の如く述べられる

「今回の滿洲國の國體變更に關し最も明らかにされたものは、君主制と民主制の別である、支那の歷史を見るに支那數千年の歷史は君主政體で進んで來たが、辛亥革命以後一般青年間に歐米の急進物質文明が浸潤し、民主制を要望するの聲高くなり、清朝は政爭を避けて遂に退位され』中華民國が成立した、然るに民國成立後玆に廿數年を經た今日の民國の狀態はどうか、一言にして云へば只混亂を繰返へせるのみである、この一事を以てしても君主、民主の何れが良きかが闡明されるであらう、滿洲國は成立二ケ年間執政制による共和制を執つて來たが之は完全な共和政體では政治教育、其他總ての點に於て完全な發展を期し難いと思ふ

事件の多いことはまさに日本一

複雜化した大新京の社會層

花輪司法領事の談

新京總領事館裁判所で取扱つた昨年中の民刑兩事件四千七百十一件で、これに關係した人は一萬八千八百四十四人の多きに達してゐる、同事件を不眠不休で裁きはたした花輪司法領事は次の如く語つた

自分は東京地方裁判所で永らく事務を執つてゐたが、一ケ年中に本館のごとく事件を裁いたことは自分としてはレコードである、おそらく全國の大都市並に「各縣」の裁判所に比しても僅か判事一名、書記生一名その他係員三名でこうした事件を執つたことは實に珍らしい、このほか吉林總領事館の事件を取扱つてゐるのと朝鮮人の事件を扱ふから內地人のみを扱ふより二倍の手數がかゝつて非常に複雜なものがある、この件數を內地の裁判所に比するならば判事三名書記十名雇員十名はどうしても必要である、又刑事の如きは豫審のみで一ケ年中に十七件だから大變なものだ豫審十七件といへば當然豫審判事一人が專屬でやつてもよいくらゐのものだ、この事情を知らないものは、やれ事務がはかどらないなどゝいつてゐるから仕方がない「自分」としては事務の進行上人員の增加を要求してゐるがその要求を容れられないから困る出來るかぎり市民の希望にそうようにしたい考へだ

海の外から

米人顔負けの
年中通しのプール

英國ウエムブレー附近の湖周圍に予て四季を通じて觀客を呼ぶ大規模の健康館ホールを建設中であつたが此の程竣成、四月から開場することゝなつた、會場內の一異彩、目下人氣の焦點となつてゐるのは觀客座席八千を有するプールであつて海の波同樣水を電氣作用で波動さし冬季は此のプールが氷スケート場と早變りするといふ米人顔負けの大物である

ロボツト計算係り現れ見物人の方が多數

紐育の或る毛皮商の店頭に二月からロボツト計算係りが出現愛想振り滿點の店お客より見物人の方が押すな〱の盛況を呈してゐる

ラヂオ欄

二十四日（土曜日）新京

午後五時〇分　子供の時間（奉天より）　童話ヘンゼルとグレーテル　山科秀一
同五時三〇分　ニュース（英語）
同五時四五分　ニュース（鮮語）
同　六時〇分　ニュース（東京より）
同六時二〇分　語學講座（滿語）　講師　烏宮成逸
同六時四〇分（日語）　語學講座　講師　植松金技
同　七時〇分　演藝（滿語）
同七時三〇分　講演（同）
同　八時〇分　ニュース
同八時三〇分　時報　氣象豫報プログラム豫告
同八時三一分　ニュース（東京より）
同八時四五分　ニュース（同）　氣象豫報
同　九時〇分　演藝（奉天より）
玉手箱　引續翌日のプログラム豫報

日本の聖女（上演上映）

生田葵　南部龍平畫

五四　密輸入商（一）

「承知いたしました」

宗兵衛は、身を動かして、傍らの押し入れを明け、その中においてあつた、一つの大きなつづらをずり出して、殿之丞の方へと押しやつた。

さうして蓋眼につつらにかけてあつた麻紐を解いて蓋を開くと、內部は書籍で一杯だつた。

「之が、お申附けの支那語と佛蘭西語との字引二十冊、こちらが支那譯の切支丹の譯文書が三十冊、此方は世界地圖が二十組、それから、面白いものが手に入りましたから、一緒に、購はさしておきました。」

さう云つてつづらの中から取出して其處へおいたのは小形の地球儀であつた。

「ほう地球儀が手に這入つたのか、之は珍しい。岩倉公に獻上したらどんなにかおよろこびになるであらう。宗兵衛殿見られよ。之が日本國、廣い世界の土地と比べて何と小さい邦國ではござらぬか。しかし邦國は小さくても日本ぢや。除國とくらべて萬世一系の天子をおいただき申す尊しい國柄、我等此國に生れた以上、この本國が、日増しに榮え行くやうに努力せねばならない。然るに今日本の多くの人達は世界の事情に暗ぜず鎖國說を唱へてゐるのがなげかはしい。一日もはやくかうした地球儀などを見せてその迷夢をさまさねばならない」

「お說御尤もでござります。さればこそ、私も貴方様の開國說に從ひ切支丹となり、かうした恐ろしい御禁制の品々を、長崎を經て支那から取寄せもいたしますのでござります、一向に便りがないので、案じてゐるのでござります」

「お寧殿は無事ぢや、しかしお寧はそなたがお寧殿に遭はされた大阪の別莊にはをられぬ。今は世を立退いて外にをられる」

殿之丞は妹の身の上を案ずる宗兵衛へとこたへた。

「私は今でも大阪のあの別莊にゐること〻思ひ、つい四五日以前お互に、ゆき來するのは、止しにしやうときめておいたのを破つて餘りに音信がないので、そつと立寄ると、住人はなくて雨戸も外されたまゝの荒れ放題、近所の人にそれとなくきくと、彼處は、切支丹の一味が隱れすんでゐたのがお上へ知れ、お手入れがあつたとやらで、いまは住人もないと話されましたので、さては、お寧は捕へられたのかと、その時は驚りました」

「所司代家へ出仕せらるゝ與力組や、同心衆へと手を廻してさぐらしますと、お高機嫌めお寧も捕へられてゐないことが×りました。今お寧は、何處にゐるのでございます」

「お寧殿は今伏見街道最寄りの隱れ家に、いままで通りみなし兒をあつめて、何事もなく日をすごしてをられる。それもマリヤ樣のお惠み御安心なされたがよい」

「左樣でござりますか、それ聞いて安心いたしました。御承知かと存じますが、私の家は先代の父宗兵衛から與力神山庫之進殿とはお心安くいたしてをるのでございます。その神山樣が昨日不意に密寫の六助殿に、審狀をもたしてお寄越しになり、お寧はこの家にゐないかとおたづねでございました。その時六助殿の話では、お寧が切支丹であることを神山樣は疾くに御承知で、それゆえ、どうかしてお寧を見つけ、一刻もはやくお寧をば切支丹の仲間からぬけ出させうと骨折つてお出でになるとのことでございました」

胃腸

病原因に作用する酵素劑

一藥劑を服用させて豫期の効果が現れなくては、患者の不滿はいふ迄もなく、醫家としても面目を失する。といつて例へば、胃酸過多症に重曹劑を服用させると、胃酸過多症の一症候である呑酸は解消して、一時患者を滿足させるが、呑酸の原因である胃酸過多症そのものを治癒する効果に缺けるから、思慮ある醫家は、一の症候だけを解消して病源を治癒する効のない對症藥劑を服用させることは屢々躊躇する。

然るに「わかもと」は、症候だけを解消する對症藥劑と異り、先づ胃腸疾患の根源を治癒するを目的とする活性酵素劑である。——即ち「わかもと」中の多種活性酵素は、衰退した胃腸の組織細胞を再生賦活して、健全な機能に更生させる作用が顯著であるから、「わかもと」だけで胃酸過多症、胃弱、胃下垂、胃潰瘍、腸カタル等を根源から治癒に導く、——斯くして原症が治癒する結果、原症の症候である呑酸、胃痛、膨滿感等は必然的に解消するに至る。

便祕……

更に、便祕に於ても、「わかもと」は下劑の樣に腸を刺戟して一時的に便通をつける對症的作用でなく、腸の組織細胞を根源から强健にして蠕動を正調するため、頑固に停滯せる便も遂に腸の自力で排泄されるに至り、併も下劑の如く危險な副作用もなく、習慣性も絶對に伴はない。

榮養

一般榮養劑に優る酵素榮養劑

榮養劑を必要とする程の衰弱者は必ず胃腸も衰弱してゐる。——この種の衰弱病者には種々の榮養劑を服用させても胃腸が衰弱してゐる爲に榮養の吸收が充分に行はれず、たとへアミノ酸劑の樣な吸收され易い性質の榮養劑だとしても、毎日僅か數瓦を服用させて稀薄に榮養素を補給した位では、衰弱の恢復が捗々しくないのが當然である。

然るに、單なる榮養劑でなく、酵素榮養劑である「わかもと」は、先づその酵素の作用によつて衰弱した胃腸を健全にし、食慾を增進して、胃腸をして專ら榮養の吸收に當らしめるから、三度々々の食餌からだけでも、一日服用させる榮養劑の十數倍、——即ち、數十瓦、數百瓦の榮養素が吸收されるは容易である上に、更に「わかもと」中の可溶性の蛋白、脂肪、含水炭素、無機鹽類、各種ヴイタミン等の榮養素が補給されるので、單なる榮養劑を服用させても著効のなかつた慢性胃腸病者、結核、虛弱兒等も「わかもと」を服用させると、能く肉つき、體重を增し、衰弱を恢復するに至るのである。

貧血……

近來、脚氣の豫防と治療に卓効あるヴイタミンBが、貧血の治療にも著効あることが立證されたが、「わかもと」中の豐富なヴイタミンBは、組成中の鐵分との綜合効果により、從來、鐵劑又は砒素劑を以つてしても捗々しくなかつた貧血患者に、血色素を增加させ、健康人特有の紅潮を呈せしめるに至るは醫家も驚異とする處である。

藥價低廉　榮養と育兒の會發賣